



「原子力災害基礎研修」報告書



3年目の看護師対象に『原子力災害医療基礎研修』を開催しました。

■日程：2024年7月29日・9月24日・11月15日（同日同じ内容） ■時間：8:45～17:00 ■参加者：61名

目的 原子力災害医療に関連する放射線の基礎知識を習得できる

- 目標
- ①原子力防災体制、放射線の基礎、影響、防護、汚染検査、除染、安定ヨウ素剤、避難退域時検査、避難と屋内退避について理解できる
 - ②タイベックの着脱方法が理解できる
 - ③演習を通して除染の方法を実践できる



当院は『原子力災害医療基幹病院』に指定されています。
 有事の際は当院に患者が搬送されてきます。
 平時から原子力災害医療に対する準備が大切です。



講義：原子力災害医療に関する基礎知識を学びました。



【講義内容】

- ①原子力災害防災体制 ②放射線の基礎 ③放射線の影響 ④放射線防護
- ⑤汚染検査・除染 ⑥定ヨウ素剤 ⑦難退域時検査 ⑧避難と屋内避難時の支援

演習：防護具（タイベック等）を装着し、放射性物質の汚染がある患者の対応を学びました。

【演習①：患者の衣類の脱衣】



大丈夫ですか？
服を切らせてください

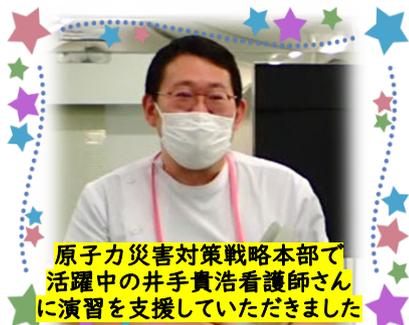
衣服の脱衣で90%、
汚染物質を除去できます。

【演習②：創部の除染】



汚染を広げないように洗浄！！

正しい知識があれば安全に対応できます。



原子力災害対策戦略本部で
活躍中の井手貴浩看護師さん
に演習を支援していただきました



安全な基準値を知ることで不安が軽減できます。

【参加者の感想（一部抜粋）】

- ・原子力をただ恐れるのではなく、知識を持って正しく恐れること、かつ、医療者としてどのような対応ができるのかを考えるきっかけになった。
- ・演習を通して、目に見えない放射線を感じ、興味が湧きました。
- ・九州には2個原発があるので、今回の学びを生かして有事の際は落ち着いて行動したいと思った。
- ・タイベックの着脱、除染の経験をしたことで、実際にケアを行う時のイメージが少しつきました。

参加者の皆さま、お疲れさまでした!!
ぜひ、次のステップの中核人材研修にも
チャレンジしてください。



被災く・汚染傷病者を受け入れる医療現場で
中心となる人材を目指そう

<https://www.gensai.nagasaki-u.ac.jp/training/chukaku/>